

「気持ちいい穴の話」

作・池田美樹

◆小野寺 悟 ……耳かきエステの頼まれ店長。元・マンション販売の敏腕営業マン。43歳。

◆小鹿 奈々子 ……耳かきエステの指名ナンバーワン。店の雑務も担当している。21歳。

◆松尾 松男 ……耳かきエステの客。正社員目指して高卒認定試験を受験中の40歳。

◆村上 信子 ……耳かきエステの新人。他者との距離感がうまく取れない40歳。

◆小鹿 春美 ……奈々子の義母。

◆説明

開店前の耳かき店。

受付の説明をしている娘と、聞いている男。

小鹿 料金は30分3000円、60分5000円。指名料は500円。支払いは現金のみ、後払いは絶対不可。こちらで住所氏名とカルテをご記入頂きます。

小野寺 (店内をそぞろに見回している)

小鹿 聞いてます??

小野寺 聞いてるんですけど。

小鹿 ……施術の部屋は3つ。奥から「星の間」「月の間」「まどろみの間」。身体の大きなお客様がいらしたら、極力「星の間」に通して下さる。

小野寺 (気のないリアクション)

小鹿 各部屋はカーテンで仕切られてるだけなので会話は全部筒抜けです。危ない雰囲気を感じたら声掛けをお願いします。

小野寺 ……(左耳を気にするしぐさ)

小鹿 ……

小野寺 ……え??

小鹿 ……聞いてます??

小野寺 あ、「めんねー!」てかさ、いつから??(小鹿を指して)

小鹿 え。

小野寺 ……あ、た、

小鹿 小鹿です。

小野寺 小鹿ちゃん。
小鹿 1年半くらいですかね。
小野寺 長いね。真面目？
小鹿 その間に店長3回代わってますけど。
小野寺 え？キツイの？？
小鹿 主観じゃないすか？
小野寺 何でやめたんだろ、前の人たち。
小鹿 体調崩したり、次が決まったり。
小野寺 ま、ずっと居ると「じゃないもんね。…え？…怒った？」
小鹿 ……
小野寺 てか俺も長くないんだ。次の店長さんが決まるまでのつなぎ。あ、頼まれ店長。
小鹿 まじすか。
小野寺 ごめんねー。
小鹿 何してたんですか？前。
小野寺 マンション売ってた。
小鹿 なんでやめたんですか。
小野寺 主観？
小鹿 ……
小野寺 俺からも聞いていい？「こさ、ちゃんとしてる？」
小鹿 え？
小野寺 給料。滞ったりしない？
小鹿 オーナー、ちゃんとしてるんで。
小野寺 ああ、あのいかつい人。
小鹿 え。
小野寺 いかにも夜の実業家くみたいな。
小鹿 ですね。
小野寺 怖くない？
小鹿 オーナーですか？
小野寺 うん。
小鹿 怖くないですよ、ちゃんとしてれば。
小野寺 ここ以外にもいろんな店持ってるんでしょ？
小鹿 ですね。あとブログ。小町さんたちの出勤状況を、日々キャッチーに更新して下さい。
小野寺 ブログ？俺が？
小鹿 はい。
小野寺 えー。
小鹿 前の店長、間違い多かったんで。
小野寺 苦情とか来んの？
小鹿 人気の小町さんに会えないのって結構問題なんで。
小野寺 小町さんって今…
小鹿 12人です。(壁に貼られた「小町一覽」のパネルを指して)でもこのあやねさんとりかささん、まいさんはあんまり来られないです。
小野寺 (下衆な目線でパネルを眺める)ふうん。
小鹿 じゃ体験します？ひと通り。
小野寺 俺、ダメなんだよね、こつち(左耳)がちよっと。
小鹿 ……
小野寺 あ、でも形だけなら。

小鹿、施術部屋へ。

カーテンの向こうの畳敷きの細長い空間。
準備する小鹿。あからさまな好奇心で室内を眺める小野寺。

小野寺 ヘンなお客さんとか来る？
小鹿 え？

小野寺 不潔な奴とか、怪しい奴とか。

小鹿 困るほどの方が来られたことではないです。

小野寺 ヘンなこと聞いた？こめんねー。

小鹿 大卒ですか？

小野寺 え。

小鹿 大卒ですか？

小野寺 一応ね。三流だけどね。え、何？

小鹿 いえ。そのこめんねーでいろいろ切り抜けてきたんだろーなーと思うと腹立つなーって。

小野寺 え？待って、怖いことしないでよ！

小鹿 (正座した膝を叩く)あたま！

小野寺 あ、はい！

スケベ心をちらつかせながら横たわる小野寺。思いのほかあたたかい小鹿のふとももに衝撃。

小野寺 …お。

ベルの音、チーン！

◆半眼トリック

小鹿 (ガラッと営業モード(ぐいらっしやいませ。本日お相手を務めます小鹿です。頭をこちらに乗せて、脚をむこうに伸ばされて下さい。)

声 ホットタオル！

小鹿 まずお耳をあたたためて、ツボをお揉みしますね。

声 グリ、グリ

小野寺 お！

声 カミソリ！

小鹿 お耳まわりの産毛をお手入れします。

声 シヤリ、シヤリ

小野寺 う！

声 耳たぶ折り！

小鹿 お耳のツボから首、肩甲骨をゆるめます。

声 ぐっ、ぐっ、

小野寺 (リアクション)

小鹿 だいぶお疲れですね。ゆるめていきましょーね。では、お耳の中を照らします。(ライト)

声 カチッ

小鹿 入れますねー。(竹の耳かき)

小野寺 (慌てて)ほんとに入れる??

小鹿 きようは真似だけですよー

声 カリ、カリ

声 ガサ、ガサ

小鹿 お、発見。動かないで下さいね。(くの字にピンセットで取り出し、ティッシュに乗せる…真似)
声 ずぞ、ぞぞぞ

小鹿「らんになりますか？

小野寺 え？

小鹿 ……で感じて、お見せします。

小野寺 耳垢を？

小鹿 はい。

小野寺 悪趣味！

小鹿（無視）続いて綿棒で仕上げますね。

声 ぞぞ

声 耳吹き！

小鹿（耳を吹く）ふっ！

小野寺（リアクション）

耳吹きからのトリップ。だんだん「半眼」状態になって行く小野寺。耳鳴り。

小野寺 ……形だけの耳かき、だけど実際に体重を預け、膝のぬくもりを感じていると、なんだか自分の半生が走馬灯のように浮かんで来た。

「潮時」を読み続ける人生です。始まりは小学校のときの連続転校。

関西から来ました、小野寺悟です！

九州・博多から来たつちゃん！小野寺悟はい！

居場所の確保が重要課題。繰り返すうちに、こうすれば気に入られる、こうすれば点数取れる、そんな

コツがわかって来た。

小鹿 だいぶお疲れたまっていますね。

小野寺 当然、出来る奴だと思われる。その途端…おっくうになる。好かたたくて頑張ったのに、そうなるとイヤになる。

小鹿 お手手は組んでくださいね。

小野寺 転校先でも、バイト先でも、愉快で楽しい宴会でも、「いつまでいようかな」そればかり考えるようになった。

小鹿 次にあおむけ、お願いします。

小野寺 適当に入った高校、適当に受かった大学、なんとなく入ったマンション販売、だけど、

小鹿 衣装のチェンジはオプションです。

小野寺 気付けば四十路、「いつまでいようかなー」。

声 ハンドマッサージ

小鹿 もみもみします。

声 ほっじ茶。

小鹿 またお会いできますように…！

小野寺 ……！

耳鳴り、続く。

◆小町たち

出勤初日。開店前。次々に出勤してくる小町たち。

声(まい) はじめまして、まいです。

声(ゆりあ) ゆりあです。

声(しおり) しおりです。

小野寺 小野寺です、よろしく。大学生？(クイックルワイパーかけながら)
皆 はい。

声(かのん) かのんです。シンママです。

小野寺 シンママ。

声(かのん) シングルマザー。

声(皆) (笑)

小野寺 (軽く気圧されて)皆元気だねえ！

声(まい) てか店長って何歳なんですか？

小野寺 何歳にもえる？

声(かのん) そついうのいいから。

小野寺 43。

声(皆) わー、みえないー！

小野寺 そつ？

声(まい) 前の店長が。

声達 ねえ(笑)

小野寺 何？どんな人だった？

声(しおり) でぶハゲ。息切れコミュ障。

声(かのん) か…かのんちゃん、シ…シフト、勝手に変えんでねー。ぐふ。

声(皆) (笑)

小野寺 わー、俺がんばれるかなー。(PCチェックしながら)

声(まい) 大丈夫ですよ、偏差値高そうだし。

小野寺 (更に気圧されて)頑張ってるね。指名もらってばんばん稼ごつ！

声(しおり) えーでも小鹿ちゃんみたいにはいかないし。

小野寺 え？小鹿ちゃんってすごいのか？

声(ゆりあ) 一応指名ナンバーワン？

小野寺 (PC見てチェック)ほんとだ。

声(まい) でも、ずるいよね。

声(かのん) あれな、

声(しおり) としとし。

声(ゆりあ) そう、としとし。

小野寺 え、何なに。

声達 (笑)

小野寺 それ、注意したほうがいいやつ？「ニ」そついうの禁止だよね？なんていうの、エロい行為。

声達 (笑)

小野寺 あ、違つ？

声(しおり) そついうんじゃないけど、ねえ。

声(まい) てか小鹿ちゃんは、オーナーの。

声(皆) ねえ。

小野寺 え？何なに？

声(しおり) てか店長、あたし明日、来れませぬ。

小野寺 え？えっと…かおりちゃん？(画面チエック)

声(しおり) (イラつきながら)しおり。

小野寺 あ、ごめん、

声(かのん) あたし代わりに入れますよ。

小野寺 まじ？えーと、

声(かのん) かのんです。その代わり水曜来れませぬ。

声(しおり) まじ？まさか、

声(かのん) てんてん。

声(まい) てんてん？

声(かのん) だって向こうのほうが時給高かと。

小野寺 ね、てんてんって何？

声(まい) シンママ必死。

声(かのん) あたりきしやりき。

小野寺 ねえ、てんてんって…

声達 え？てかさ、

スズメのようにしゃべる小町たち。

小野寺、耳鳴り。

小鹿 (タイムカード)大変でしょ、シフト。

いつのまにか小鹿。

小野寺 え？

小鹿 シフト。

小野寺 あ、うん。頭がどんがらがつしゃん。

小鹿 求人出してるんですけどね。

小野寺 そうなの？

小鹿 微妙な金額ですもんね。

小野寺 え。

小鹿 時給1500円+歩合。コンビニ以上キヤバクラ以下。

小野寺 ねえ、てんてんって何？

小鹿 さあ。

小野寺 え？

小鹿 ……

小野寺 じゃ、とていつって何？

小鹿 え。

小野寺 としとし。あ、聞いちゃいけない感じ？

小鹿 赤ちゃんの手遊びです。お手手出して下さい。

小野寺 (出す)

小鹿 今、小野寺さんおんまさんに乗ってまーす。これ手綱でーす。行きますよ。うまはとしとし なくても

うまはつよいから小野寺さんもつーよーいとしとし。

小野寺 え。

小鹿 はい。

小野寺 そういうプレイ？これで喜ぶ人いるの。

小鹿 主観すかね。

小野寺 (メール着信音)おー来たー！求人！

小鹿 ……
小野寺 ねえ。
小鹿 ？？
小野寺 面接するとき、隣に居てくれない？
小鹿 は？？
小野寺 だって俺、何もわかんないじゃん！
小鹿 えー？？
小野寺 ごめんねー！

◆面接

がちがちに緊張している女。向き合って小野寺。少し離れて小鹿。

小野寺 村上、信子さん。
村上 はい。
小野寺 志望動機、耳かきが得意。
村上 はい。
小野寺 得意、というのは。
村上 人に褒められたことがあって。
小野寺 ああ。ただ…うちの募集要項はご覧になりましたかね。対象年齢、
村上 18歳から32歳。
小野寺 あ、で、お齡が…(履歴書を見て)32。
村上 はい。
小野寺 32。
村上 無理がありますかね。
小野寺 え。
村上 なんとか、見えませんか。
小野寺 ま、薄暗い職場ではありますが…本当は？
村上 プラスちよっと。
小野寺 ちよっと。
村上 8？
小野寺 32+8。
村上 結構頑張れると思うんですけど。
小野寺 (履歴書指しながら)資格もいろいろお持ちですし、もっとその、普通の会社をお考えになったら。
村上 いや、間に合ううちに。
小野寺 間に合う。
村上 その…女性として？女性しか出来ないその、女性ならではの…
小鹿 あ！
村上 ！
小鹿 この前来られましたよね？
小野寺 え、お客さん？
村上 (小鹿に)あのとときめっちゃ感激して、自分でも出来んかなて。あ、おこがましかとは思いますが、でももし間に合うものなら。その…女性として？女性しか出来ないその…
小野寺 (割って入る)ああー！じゃ週5で入れます？
村上 え？
小野寺 週5。せめて4。
村上 大丈夫です！何なら6！必要とあれば7でも。
小野寺 ころー！

村上 ええ？

小野寺 アリ、と思います。いいよね、小鹿ちゃん！

小鹿 えー？

小野寺 (小鹿に小声で) 背に腹は変えられないんじゃないかな、やる気すごいし。

小鹿 (小声で) あたし責任取りませんよ。

村上 あのう…

小野寺 (調子よく) 決まり！じゃ名前、何にしましょう。

村上 名前。

小野寺 小町ネーム。

村上 自分でつけるんですか？

小野寺 既に居る人はこちらです。(在籍表を指しながら) まい、ゆりあ、かのん、かおり、

小鹿 (厳しく訂正) しており。

小野寺 (どぎまぎ) あ、しており、

村上 (小鹿を指して) そちらは…

小鹿 小鹿です。

村上 こじか。

小鹿 本名です。小鹿奈々子。

小野寺 え、名字？

村上 じゃあたしも、

小野寺 村上？

声 まいでーす。

声 ゆりあでーす。

小鹿 小鹿でーす。

村上 村上です。

小野寺 いい！なんか新しい！ね、小鹿ちゃん。

小鹿 ……

小野寺 じゃ明日から、

村上 よろしくお願いします！

◆研修

耳かき部屋。淡々と説明している小鹿。懸命にメモを取っている村上。

小鹿 耳あかには大きく2種類、こな耳とアメ耳があります。

村上 (メモ)

小鹿 こな耳は傷つけやすいので粘着綿棒で丁寧に施術します。

村上 はい。

小鹿 耳の穴の大きさが違ってほんっと人それぞれなんです。綿棒入るかな、つてくらい狭い方から、小指入っちゃうんじゃないかって方までいらっしやいます。ちなみに村上さんは…(ぐつと覗く)

村上 !

小鹿 小さいっすね。おくゆかしい。

村上 (どぎまぎ)

小鹿 恥ずかしいですよ。自分で見れん部分は触らるっとは。でも頭預かってると、

村上 ?

小鹿 今、この人の運命握ってる、って気になるので、楽しかです。

村上 (リアクション) へんな人とか来らずですか？

小鹿 隙あらば触ろうとする人とか、謎めいた女の人とか…あ、プロレスのマスクしたユーチューバーさん来られたこと
もあります。

村上 ユーチューバー！

小鹿 ずーっとスマホに向かってしゃべりながら動画録らすとです。(軽く再現)「はい、本日は耳かき店にやって来まし
た！では早速お願いしたいと思います！はい！」

村上 マスクしたまま？

小鹿 はい。意地でもマスク外されないので、こう、マスク少しめくってなんとか耳かきました。「あ、入って来まし
た！お、あ、いい！おおお！」

村上 (唾然と見ている)

小鹿 あ、でもやりがい感じますよ、そういう人来ると。「う、さばくぜーって思います。

村上 (リアクション)

小野寺 開店しまーす。

ベルの音、チーン！

懸命に小鹿について行く村上。緊張でガチガチ。

小鹿 いらっしやいませ。

村上 本日お相手を務めます、

小鹿 小鹿です。

村上 村上です。

声 ホットタオル！

小鹿 ほふ！

村上 ほふ！

声 ツボ揉み

小鹿 グリグリ

村上 ゴリゴリ

声 カミソリ！

小鹿 シヤリシヤリ

村上 ジョリジョリ

声 耳たぶ折り！

小鹿 ぐっぐっ、

村上 ぐいっぐいっ

小鹿 では、お耳の中を照らします。(ライト)カチッ

村上 カチッ

小鹿 入れますねー。カリカリ

村上 ガリガリ

小鹿 ずぞ ぞぞぞ

村上 ぞぞぞぞ

小鹿 ごらんになりますか？

村上 (不器用に見せる)

声 綿棒！

小鹿 ぞぞ

村上 ぞぞぞ

声 耳吹き！

2人 ふーっ！

声 ほっじ茶。

2人 またお会いできますように…！

◆マツオ

受付。かなりおどおどした、ガタイのいい男性。

マツオ あー。

小野寺 ？

マツオ 初めてなんですけど、だいじょうぶですかね？

小野寺 いらっしやいませ。

マツオ …耳そうじとかしてないんですけど、いいですかね？

小野寺 ああ、全然大丈夫ですよ。30分と60分がありますけど、

マツオ ええと…30分3000円、

小野寺 60分5000円。

マツオ じゃ、30分で。

小野寺 かしこまりました。

マツオ あ、これ、使えますか？

小野寺 クーポン。

マツオ …使えますか。

小野寺 では、500円引きで。

マツオ どうも。

小野寺 こちらでお名前と連絡先を。名前はニックネームでも構いません。

マツオ ニックネーム。

小野寺 はい、小町さんとおしゃべりするとき呼ばれたい名前。

マツオ ああ。

小野寺 こちらカルテ、該当するところにチェックをつけて下さい。

マツオ ああ。

小野寺 (チェック欄を指しながら)肩こりとか疲れ目とか、大体で大丈夫です。

マツオ あ、はい。あ。

小野寺 ？

マツオ これ、なんて読むんですかね。

小野寺 ああ、耳かきの、ひんど。

マツオ ひんど。

小野寺 どのくらいの間隔で耳かきするかのな。

マツオ ああ。あ、これは。

小野寺 しっかん。耳の病気がおありかどうか。あ、でもそこも大体で。

マツオ はい。

小野寺 では、

ベルの音、チーン！

がちがちの笑顔で村上。

村上 いらっしやいませ。本日お相手を務めます、村上です。

村上を見て固まるマツオ。

小野寺・小鹿、固唾を飲んでみつめる。チェンジかと思いきや、

マツオ ……どうも！
村上 どうも！

マツオをいざない、奥に消えて行く村上。

小鹿 大丈夫すかね。

小野寺 大丈夫だいたいようぶ！

…と言いながら、俺はかなりドキドキしていた。その人のニックネームは「マツオ君」。チエンジがかかったら待機中のゆりちゃんを、とか考えてた。…30分経ってマツオ君は出てきた。…いかがでした？

マツオ めっちゃ……………

小野寺 っっ？

マツオ 気持ちよかったです！

小野寺 よかったですっ！（安堵！）

マツオ また来ます！また！

マツオ、退店。呆然と村上。

村上（呆然）

小野寺 村上さん、グッジョブ！

崩れ落ちる村上。慌てて支える小鹿。

小野寺 勤め始めて一週間、来店する男性のカテゴリーが見えて来た。好奇心と軽いノリでやって来るタイプ、めっちゃめちゃ緊張してるタイプ、純粹に疲れを癒しに来るタイプ。皆、隙あらば的な下心はデフォルトとして、二度三度通ううちに、小町さんたちとのゆるやかな時間が楽しみになるようだった。

ミーティング。

村上 本日、「チエンジ」お2人、「会った途端オバサンよばわり」3人、「無言で我慢」3人、「気持ちよかった」お2人。このお2人をよすがとして、村上、夜の部も頑張ります！

小野寺 いい。村上さん、いいよー！

村上 あざっす。

小鹿 お。

マツオ ちやすー！

小野寺 いらっしやいませー！

マツオ（クーポン）これ、使えますか？

小野寺 マツオ君はしばしばやって来ては、クーポンを使って村上さんを指名した。マツオ君のおかげで村上さんはめきめき自信をつけていった。

マツオ 気持ちよかったです！

村上 また、お会いできますように！

◆制服

開店前の受付。

小鹿 店長！トシへ切れてまーす。
小野寺 トシへ。

小鹿 トイレットへパー。

小野寺 あ…どうしたらいいかな。

小鹿 行きます？

小野寺 え。

小鹿 買い物。一緒に。

小野寺 助かる。

繁華街。淡白に道案内する小鹿。

小野寺 飲み屋、キャバクラ、名もない百貨、精力剤メインの薬局…がちゃがちゃした通りを抜けると、けばけばしいデ
イスクラントストア。その隣の工事現場にはトラックが横付けされ、車通りをふさいでいた。

小鹿 あれ？

小野寺 え？

小鹿 (指差す) マツオ君。

小野寺 ？？

小野寺 マツオ君は、汗だくになりながら車の誘導をしていた。混み合う道路、マツオ君は苛立つ運転手にペコペコ頭を
下げていた。

2人に気付くマツオ。

マツオ おー、店長！(駆け寄って来る)

小野寺 大変ですね、車。

マツオ なんかはつかしかですね。

小野寺 制服、似合ってます。

マツオ やー、汚れとるけ、見らんでー。

小鹿 (笑)

マツオ 買い物すか。

小鹿 はい。

声 (怒鳴り声) 松尾ー！

マツオ はいー！また行きます。また！

マツオ、駆けて行く。

小鹿 マツオって本名なんだ。

小野寺 だね(笑)

◆数I

ベルの音、チーン！

小鹿 いらっしやいませ、

村上 本日お相手を務めます、

小鹿 小鹿です。

村上 村上です。

小野寺 毎日まいにちいろいろなお客さんが来る。この日小鹿ちゃんは緊張し過ぎて微動だにしない男子の頭を膝に乗せるのに四苦八苦し、村上さんは三次元の男性に興味を持ってない30代の女性の悩みを60分聞いていた。

声 ほうじ茶。

2人 またお会いできますように…！

昼営業中の受付。

声(まい) 店長。

小野寺 ン、どうした、えーと、

声(まい) まいでーす。忘れ物でーす。

小野寺 あ、ありがとう。えーと、星の間？

声(まい) ですでーす。あ、店長、あたし明日来れませーん。

小野寺 えっどういこと？

声(まい) テストがやばくて。すいませーん。

小野寺 あ、まいちゃん…まいちゃん？

通りがかる村上。

村上 お疲れ様でーす。

小野寺 あ、村上さん！今、星の間だったよね？

村上 はい。

小野寺 忘れ物。お客さんは、

村上 マツオ君でした。あららー。(中を開ける)あら？

小鹿。

小野寺 何？

村上 これ…教科書？

小野寺 「よくわかる数Ⅰ」…息子さんのとかじゃないの？

村上 いや。こゝ、名前！

小野寺 松尾松男。

村上 松尾松男。本名？

息せき切ってマツオ。

マツオ すいません、俺、忘れ物して…

小野寺 (リアクション)あ、いらっしやませ…

マツオ (村上の手にした参考書を見て)わー！はつかしー！

村上 何なんですか、これ。(渡す)

マツオ 俺…受験するんす。

小野寺 受験？

マツオ 高卒認定試験。知つとるすか。

村上 ああ、大検的な？

マツオ そう、それっす。

村上 えらからー！

マツオ えらくないすよ、昔ちゃんとしとらんかったツケ(笑)

小野寺 試験いつなんですか？

マツオ 来月です。やけど公式奴が頭に入らんで超やびやっす。

村上 公式。

マツオ 二次方程式、とかの。

村上 にじほうていしき。

小鹿 (食いついて来る)その話、もっと聞きたいんですけど。

マツオ え？

小鹿 きょう何時上がりですか？あ、うち来ませんか？

マツオ は？

小野寺 (小鹿に近づいて)ちよ、ダメだよ、そういうの。

小鹿 店長も来ますか？

小野寺 え？

小鹿 上なんです。家、この上なんです。

3人 え？

◆事務所に住む娘

小鹿の住まい。殺風景な事務所。

小野寺 小鹿ちゃんの住まいは…同じビルの4階にあった。まるっきり普通の事務所。スチール製の事務机の上に立てられた小さな鏡。その周囲には、ちまちまとした化粧品類が並べられ、開きっぱなしのロッカーにはカラフルなTシャツやスカートが押し込まれていた。ベッド代わりにしてある応接ソファには毛布が数枚重ねてあった。

小鹿 どうか適当に座って下さい。(応接ソファの毛布をどかして座面をぼんぼんと叩く。巻き上がる埃)

皆 (咳き込む)

村上 ……ここに住んどるとっ

小鹿 はい。(適当に片付けながら)

村上 まじでっお風呂はっ

小鹿 近くのネカフェに。急ぐときはその給湯室で。

村上 ばー。こぼんはっ

小鹿 普通にそのへんで。

村上 ばー。

マツオ いっすね。

小鹿 え？

マツオ ロックっすね。

小鹿 (笑)

村上 てかなんで。

小鹿 オーナーが貸してくれたとです。面接受けたとき住所なかったんで。

村上 住所？

小鹿 ま、そのうち引っ越します。

村上 実家は遠かど？

小鹿 そうですね。これ本名ですか？(参考書を指して)

マツオ あ、はい。

小鹿 松尾松男。

マツオ 中々までは斉藤松男だったんですけど、親が再婚したんで、

村上 松尾松男。

マツオ でも気に入るとるんす。忘れんでしょ？松尾松男。

小鹿 ロックすね。

村上 でもなんで受験しようて思ったと

マツオ ツケです、ツケ。俺、ワルだったんで。

小鹿 ワル！

マツオ ケンカしに学校行ってたんで。あ、俺ニ左腕ニにプレート入るとるんす。飛行機乗るとき、しゃっちが
キンコン鳴る。

村上 闘うために入れたと？

マツオ いや、ただの骨折す。こげんして防御したときにブオキツって。

村上 (リアクション)

小鹿 さわっていいすか？うわ、なんか硬い。

村上 まじっほんとーほん店主。

小野寺 俺はいい。てか北九州？

マツオ わかります？

小野寺 俺いたの。小学校んとき。

マツオ ええ、どっすか。

小野寺 (地名)

マツオ わ、俺(地名)っす。

小野寺 (北九州住みにしかわからないこと)

マツオ (リアクション)

村上 (割って入る)でも何で今さら受験？

マツオ 正社員になりたいんすよ。

村上 正社員！

マツオ 正社員になって、背広着て、ボーナスもらいたい。

小鹿 ボーナス！

マツオ あと、昼休み、屋上でバレーボールしたい。

小鹿 バリボー！

小野寺 ないないない。

マツオ ないすか、バリボー。

小野寺 ないないない。

マツオ 店長さん、何屋やったんすか？

小鹿 マンション屋。

マツオ やっぱ大変すか？

小野寺 「夜討ち朝掛け」って聞いたことある？

マツオ 何すかそれ。

小野寺 あとひと押し、のお客さんには、朝ニはんと晩ニはんの頃に営業に行く。

小鹿 朝ニはん？

村上 めいわニく！

小野寺 でもその時間は、決定権があるおとうさんが家に居る。だからねじこみに行く。

村上 めいわニくを乗り越えての、(何らかを乗り越え、)

小鹿 ねじこみ。(何らかをねじこむ)

マツオ でもずいぶんもらえるんでしょっ？

小野寺 成績上げればね。上がってないときは針の筵。イヤでも張り出されてるしね。

マツオ 成績が？

小鹿 社畜。

小野寺 社畜しやちく。

マツオ ずーっとマンション屋さんだったんですか。

小野寺 うん。会社はみつつ変わったけどね。
マツオ なんて？

村上 引き抜きだ。

小野寺 まあね。

マツオ すげー。じゃなんで辞めたんですか。

小野寺 いろいろあるよ。

小鹿 でもまた戻るんでしょ？

小野寺 まあね。

村上 (マツオに)試験は来用？

マツオ はい。てかもう4年もかかってるんす。

小鹿 4年？

マツオ 国語とか英語とか8科目合格すればいいんですけど、あ、これ、何年かかってもいいんすよ。

小野寺 へえ。

村上 あと何科目残ってると？

マツオ 1科目。

小鹿 それが、数学。

マツオ はい。

村上 公式っていうと…

マツオ やけ、えーと、二次方程式の解、えつくすイコールにーえーぶんの…

小野寺 (すらすら出て来る)マイナスびープラスマイナスルートびーじじょうマイナスよんえーしー。

村上 ……

小野寺 ……え？覚えたよね？高校るとき。

村上 あたしね、ときどき夢みると。卒業しとらん夢。今ん顔まんま、制服着て教室で試験受けよると。もう汗だく。

小鹿 こえー。

マツオ あれ、どげんしたら覚えられるんすかね。

小野寺 なんかりズムで覚えただね。えつくすイコールにーえーぶんのマイナスびープラスマイナスルートびーじじょう

うマイナスよんえーしー。

マツオ え、もいつかい！

小野寺 えつくすイコールにーえーぶんのマイナスびー

小鹿 プラスマイナスルートびーじじょう

マツオ マイナスよんえーしー。

村上 ラップ？

小野寺 いや、

マツオ なんか覚えられるっばい！

小野寺 ……

小鹿 (リズムに乗せて)えつくすイコールにーえーぶんのマイナスびー

村上 プラスマイナスルートびーじじょう

マツオ マイナスよんえーしー。

3人 おー！

村上 いけるー！これで行ってみよう！

マツオ はい！

小鹿 質問！(挙手)いくらなんですか？受験料。

マツオ 85000円。なんで？

小鹿 中退なんで。

マツオ え？受ける？

小鹿 出来ますかね、勉強。

マツオ 俺が出来るとだもん、出来るよー。

小鹿 (リアクション)

村上 応援する。

小鹿 え？

村上 応援するよ！二人とも！何ばしたらよいか…！すぐには思いつかんばってん、応援する！

マツオ わー。

村上 え？

マツオ 俺、村上さんのそういうところ、やっぱり好きです。あーがんばります！がんばります！

村上 (リアクション)

◆お義母さん

開店前の受付。

村上 店長先輩。

小野寺 ？

村上 やばかですよ。若うか娘が1年以上もあがんとろくに住んどるて。

小野寺 ああ。

村上 ここはあたしたち大人が何とかしてやらな、て思いませんか。

小野寺 何とかって？

村上 何…かわからんばってん、何とか。

小野寺 でも俺、長く居れないから。

村上 頼まれ店長。知っとるです。それ聞くとたんびにイラッてします。

小野寺 ごめんねー。てか村上さん。(すっ、と手を差し出す)

村上 ？？(ときまぎししながらその手を握る)

小野寺 手。

村上 え？

小野寺 カサカサ。ハンドクリームとか塗って。

村上 (リアクション)

声 こんにちはー。

と、中年の女。なんともファンシーな感じ。

2人???

春美 小鹿…奈々子はおりますでしよつか。

小野寺 え？

春美 小鹿の家の者です。奈々子はおりますでしよつか。

村上 きょうは夕方からだけん、まだ上におらすと思えますよ。

春美 上？

村上 上の住まいに。え？

小野寺 (目で合図)

村上 (しまった、の顔)

春美 こん上に、住んどるんですか？

村上 あ、いえ…お。

春美 (しばし隙を見回して)元気にしてりますでしよつか。

小野寺 はい。人気の小町さんですよ。(壁の「小町一覽」のパネルを指す)

春美 (眺めて)…そつですか。あの…

小野寺 はい？

春美 どんなん、お仕事なんでしょう。

小野寺 え？

春美 この…(パネルや施術室を見回しながら)

小野寺 あ、その…耳かきしたり、マッサージしたり。心配されるようなことは、何も。

春美 そつですか。

小野寺 はい。

春美 あ、なら、また。

小野寺 あ、はい。

中年の女、帰る。

入れ違いに小鹿。

小鹿 春美ちゃん！

2人 え？

小鹿 それ、春美ちゃん。おかあさん。

小野寺 おかあさん？

小鹿 お義母さん。

小野寺 お義母さん！

小鹿 おとうさんの奥さん。春美ちゃん。

小野寺 心配されてたよ。

小鹿 何を？

小野寺 こここの、仕事を。

小鹿 えー。

村上 ごめーん、あたしぼろっと言ってしてもて。

小鹿 え。

村上 上に住んどるて。

小鹿 いいといいとーい言おつかなあて思いよったとだけん。

村上 あんまようなかと？

小鹿 え？

村上 お義母さんと。(指でバツテンを作る)

小鹿 全然！うちのヒマワリ。

村上 え。

小鹿 春美ちゃん。あたしが高校んときに子連れで来らしたとです。いやもうそれまで父親と2人、家ん中殺風景だっ

たけん。女ん人が来ると家ん中に色が増えますね。

村上 色？

小鹿 カーテンとかタオルとか…ランチョンマットとか。

村上 ランチョンマット！敷かすと？

小鹿 それも季節ごとに変わるとですよ。ひなまつりとかハロウィーンとか。

村上 ば？。

小鹿 あと料理！春美ちゃんの作るお煮しめ、ニンジンとレモンが花の形になったとです。

村上 ば？！よかおかあさんたい。

小鹿 うちのヒマワリ。

村上 は？。

小鹿 て、おとうさんが。

村上 あ、おとうさんが。

小野寺 帰らないの？

小鹿 え。

小野寺 家。

小鹿 帰りますよ、自宅ですもん。

小鹿、店の奥へ。小野寺と村上、顔を見合わせる。

◆歩道橋

繁華街。買出し中の小野寺・小鹿。

小鹿 わ。

小野寺 何？

小鹿 あれ、毛布ですよね？粗大「ミント」。

小野寺 あー、だね。

小鹿 びつこつしたー。誰か倒れてるかと思った。

小野寺 俺、そついうの見ないようにしてんだ。

小鹿 なんぞ？

小野寺 しゃせん助けられないっていうか…運の悪そうなもんに近づくと、伝染する気がしない？

小鹿 不運が？

小野寺 うん。

小鹿 わかるけど(笑)。

小野寺 ひどいかな？

小鹿 人間だもの！

小野寺 え？

小鹿 あたしですね、耳かきの前、コンビニに居たんですけど、コンビニ店員って結構人間として認識されとらんなーってずーっと思ひよつたとです。いちいち顔とか見らんくないですか？

小野寺 ま、そつだね。

小鹿 だけんいつも仕掛けよつたとです。

小野寺 何を。

小鹿 人間認識ゲーム。

小野寺 何それ。

小鹿 たとえば、レジの成人認証キーは車のキーで押してくる人。あれ、体温がないと反応しないんですよ。だから指でお願ひします、って言ってるのに、やっぱりキッキンって押さすとです。

小野寺 (リアクション)

小鹿 あと電話しながらお金投げる人。あたしの声聞こえてないのかなー、てか言葉として聞こえてないのかなー、なんかチュンチュンとかオーオーとか言ってるようにしか聞こえてないのかなーって。

小野寺 どうすんの。

小鹿 レジ打たずに待ってます。

小野寺 怒るでしょ、お客さん。

小鹿 それば待つとるとです。「何や？」「あと300円お願いします」「はあ？」て。

小野寺 それ怖いつしよっ。

小鹿 でもこちらを人間とみなしてしまつた、とついで。

小野寺 小鹿ちゃんの勝ちっ。

小鹿 はい。

小野寺 危ねえゲーム！

小鹿 人間だもの。

小野寺 ？

小鹿 なんか、度は越した人みたらいつも唱ゆつとです。人間だもの。お金投げてても、車のキーでギアギアしても、汗くさいまんま耳かき来ても、まちがったフリしておぼいさわつて来ても、人間だもの。

小野寺 ……

歩道橋の上から景色を眺める小鹿。つられて小野寺。

小野寺（景色を眺めながら）あの人、信号無視したよ。

小鹿 人間だもの。

小野寺 赤ちゃん泣いてるよ。

小鹿 人間だもの。

小野寺（ ）だよ。

小鹿 人間だもの。

小野寺 犬吠えてるよ。

小鹿 犬だもの。

小野寺 ……これ便利だな！

小鹿 でしょ？

◆重い耳かき

営業中の受付。カウンターに肘をつき、何やら相談しているマツオ。

小野寺 え？重い？

マツオ はい。

小野寺 村上さんが？

マツオ はい。あ、体重じゃないですよ。

小野寺 わかります。で。

マツオ 耳かきの間じゆう、めっちゃ俺を応援してくれるんす。

小野寺 おうえん。

マツオ 魚の目玉が頭にいいよ〜とか、お百度参りして来たよ〜とか。

小野寺 え〜

マツオ それが最近、だいぶ。重い。

小野寺 ああ。

村上、出て来て聞いてしまう。続いて小鹿。

マツオ 贅沢とは思いますが！そげな人今までおらんかったけ、ほんととありがたいんす！けど、

小野寺 重い。あ。

村上 すいません…

マツオ あ、

村上 すいません…

マツオ 村上さん！

村上 ほんつとすいません、あーすいません！

マツオ いや、違うんす！ほんつと嬉しいんす！

村上 でも重いんですよ。

マツオ いや軽い！いや、軽くない！あれ？

村上 あー！

マツオ いやー！

小野寺 あのー、営業中なんで外でやってもらえますかね。

小鹿 あの。

3人？

小鹿 うち来ます？
3人 え？
小鹿 あとで、うちで話します？
3人 !

◆頑張ります

小鹿の部屋。

村上 あたし、距離感がおかしかとです。

小野寺 距離感。

村上 人との、距離感。あ、前に、一緒に暮らした人がおって。

小野寺 え？

村上 え？

小鹿 男？

村上 …一応。

小野寺 いつ頃？

村上 半年前。

小野寺 えー。

村上 えー？

小鹿 (店長をつつく)

小野寺 いや、続けて。

村上 パソコンの修理会社でバイトしよる人で、うちのパソコンの調子ん悪かとき知り合いに紹介してもらて…

マツオ、村上に誘導される形で「そんな人」になる。

出会いの再現①「村上の自宅」。

マツオ(元彼) (専門用語で滔滔と)これ、エクセルがハーミットに感染してまして、クラッシュする前にバスターを…

村上 (ちんぷんかんぷん)

マツオ (幼児に語るように物語風に)このエクセルさんが働けないのはハーミットという悪者に呪いをかけられているからなんですな。

村上 呪い。

マツオ はい。なのでバスターという勇者を送り込むと、その勇者が悪者を退治するので、村に(PC再起動)…平和が。

(こころり)

村上 おー。(目線が合う)

2人 はっ！

村上 …うって感じで、そんなうちに段々話すようになって…で、

小野寺・小鹿 (リアクション)

再現②「喫茶店」

マツオ(元彼) 大家さんの都合でアパート立ち退きになっちゃって……しばらく宿無しです(切なく笑う)

村上 うちで、暮らしませんか？

マツオ(元彼) え？

村上 (自分の発言の大胆さにおののく)あいや、同居人ということ……そんな深い意味はなくて！

マツオ (恋愛本気モード)どど…同居人じゃなきゃダメですかね？…

村上 (どつきり)え？

マツオ はい。

2人 (大慌て)

小野寺・小鹿 ひゅー!!

村上 (照れながら) 家賃は折半。毎月2万もらいました。

再現③「当時いろいろ」

マツオ(元彼) (2万渡す)

村上 いや、人と暮らすとか初めてで、好き勝手に生活しよったけん、なかなかままならんで。

小鹿 ままならん。

村上 洗濯物ひとつ畳むとでもあたしは何でん、(首を立てて畳む)パーン！パーン！て。

マツオ(元彼) (少し困った顔でそれを見ている)

村上 ばってんそんな人は「う、埃は立てん」「う、貴族のように」。

マツオ(元彼) (貴族のように畳む)

小鹿 ……ままならんね。

村上 でもある月に

マツオ(元彼) あ、今月分の家賃、ちよっと待ってくれる？

村上 気になって聞いたら、

マツオ(元彼) バイト、切られちゃって。あはは(笑)

村上 あははじゃなかですよねっばー「らおお」って思っつて、そしたら距離感のおかしゅうなっつてもて、小野寺 たとえば？

村上 「はん食べに行くって……あー満腹。

マツオ(元彼) おいしかったねー。(財布を出そうと)

村上 (すかさず) あ、「こはあたしが。

マツオ(元彼) ……ありがとう。

村上 バスに乗っても、

マツオ(元彼) あ、次だよ。(小銭を探す)

村上 あ、「こはあたしが。

マツオ(元彼) ……ありがとう。

村上 で、買い物ついでに求人雑誌買って帰ったり(渡す)

マツオ(元彼) ……ありがとう。

村上 財布に「うそり3万円しのばせたり」「うそり」…

マツオ(元彼) (財布の中を見て) えっ

村上 「うそり」。

マツオ(元彼) いやこれはさすがに…

村上 お気になさらず。

マツオ(元彼) ……………ありがとうございます。

小野寺・小鹿 あー。(「そりやダメだろうっ」の反応)

村上 ばつてんそんな頃からぼつぼつ外泊をすなめて思いまったらいつの間にか…そんまま…

小鹿 そんまま。

小野寺 逃げられた。

小鹿 は？

小野寺 え、違っ？

小鹿 逃げられた、て。

村上 いやー逃げたっと思えます。距離感おかしゅうなっただけ強いです。…あたし、近づきたくせに、寄って来てもらったら調子に乗ってしまっただけです。

小野寺 そりや重いよねえ。

小鹿 店長！

小野寺 あ、ごめん。

村上 だけん、マツオ君にも随分いらんことしたなて。

マツオ …

村上 …ほんっとごめんね。もうせんけん。ほんっとごめん。

マツオ 俺。

村上 え？

マツオ 俺、逃げんす。村上さん、俺は、逃げんす。

小野寺 マツオ君？

マツオ あーほんっとバカでした！村上さん、ニコ、ゴメンタして下さい。

小野寺 えーっ？

マツオ 俺、まじ頑張るんで！お願いします！

小野寺 してあげれば？

村上 ええええ…？

マツオ バチッと。

村上 えええええ…？

マツオ ニコんとニコ、バチッと。

村上 じゃあ…行きます！

村上、マツオの身体をぐるりと回して背中を、

村上 がんばろうね……………！(バチッ！)

マツオ ……？

小野寺・小鹿 (リアクション)

マツオ (その配慮に感動する)あざす！俺、頑張ります！

村上 ！

◆許可

受付。小町。

声(かのん) 店長！

小野寺 さん、どうした？えーと、かのんちゃん。

声(かのん) あたし来週いっぱいですいませーん。
小野寺 え…辞めるってこと？

声(かのん) すいませーん。

声(しおり) え、もしかてんでん？

声(かのん) うん。

声(まい) えーずるい！あたしも行きたい。

小野寺 えーと、まいちゃん？

声(かのん) じゃよろしくお願いしまーす。

小野寺 あ、かのんちゃん…かのんちゃん？

耳鳴り。小鹿。

小鹿 大変でしょ、シフト。

小野寺 え？

小鹿 シフト。

小野寺 うん。

小鹿 求人、出しているんですけどね。

小野寺 ね、てんでんって何？

小鹿 ……さあ。

小野寺 いや、

声(かのん) ちはー。

小野寺 ……いらっしやいませ。あ。

春美。

春美 (小鹿をみつけて) 奈々ちゃん！

小鹿 春美ちゃん！

春美 やつと会えたー！

小鹿 ぶさたごめん！

春美 元気してる？

小鹿 うんうん。

春美 ごはん食べよる？

小鹿 うんうん。

春美 お休み取れよる？

小鹿 うん！店長がいい人なんで。

春美 (小野寺に) あらー！ありがとっ！ございます。

小野寺 あ、いえ。なんか、

小鹿 え？

小野寺 きょうだいみたいですわね。

春美 あらあ！

小鹿 おとうさん元気？

春美 元気げんき。ちっと太らしたけどね。

小鹿 さとし君は？

春美 元気げんき。もう3年生だけんね、言うことも生意気っか。ゲームばっかしよらす。

小鹿 春美ちゃんは？

春美 元気げんき。最近ミニバレーに行きよる。(トス)

小鹿 (リアクション)

春美 てかずーっと、言わなん言わなんて思うとったことあつて。

小鹿 何？

春美 …うん、(小野寺を気にする)

小鹿 (察して)耳かきせん？

春美 ？

小鹿 していかん？

春美 よかと？

小鹿 うん。

小野寺 小鹿ちゃん？

春美 女の人も、来ると？

小鹿 来らすよ。耳かきだもん。

春美 (小野寺に)あ…おいくらですか？

小鹿 いいといいと。(カウンターでカルテを書く)

小野寺 小鹿ちゃん？

小鹿 じゃ、30分で。

小野寺 ！

春美 …すいません、

小野寺 …あ、「ゆっくり」。

小鹿、施術室に。連れて春美。

小野寺 小鹿ちゃんはお義母さんを連れて施術室に入った。カルテの名前は…「ヒマワリさん」。30分後、

2人、出てくる。感激した様子の春美。

小野寺 いかがでした？

春美 よか、お仕事ですね。

小野寺 ああ。

春美 どうぞ、よろしくお願ひします。

春美、退出。

小鹿 ……

小野寺 よかったね。

小鹿 緊張したあああ！

小野寺 話、出来た？

小鹿 すんごく、ラクになりました。

小野寺 ？

小鹿 引越すて。家、売るらしいんですよ。それ聞いて、だいぶ。

小野寺 え？

小鹿と春美、耳かき回想。

声 カリカリカリ…ガサガサ…

春美 あたしの美家、覚えとる？

小鹿 ああ、ホタル見た。

春美 そう。田舎のポロ屋の。あそこは建て替えて、皆で引越そうか。ばあちゃんひとりだけん、もういつそ皆でーて。

小鹿 あー。
春美 でも奈々ちゃんの気持ちか。
小鹿 ？
春美 あそこで生まれ育っただもん、思い入れもあつどーて。勝手に売るわけにはいかんよねーて。

声 カリカリカリ……ガサガサ……

春美 だけん奈々ちゃんの許可ばもろたら、
小鹿 許可て。

春美 ばつてん、ねえ。

小鹿 あたしは全然。

春美 ほんと？

小鹿 ぜんっぜん。

春美 ならよかるか……？

小鹿 ぜんっぜん。

春美 ありがとう。おとうさんにも伝ゆるね。

小鹿 うん。

春美 遊びに来てね。

小鹿 ？

春美 あん家。まだ一か月ばかりはおるけん、一回でん、ね。

小鹿 うん。行く。

春美 ……ごめんねー。

声 カリカリカリ……ガサガサ……

小野寺 いいの？

小鹿 ？

小野寺 寂しくないの？

小鹿 うち、案外広かつですよ。父親がこども5人作るつもりで建てた家らしかです。

小野寺 5人！

小鹿 ま、結果あたしひとりだったんですけどね(笑)

小野寺 ……

小鹿 家族と居るとに、頑張ることなですか。

小野寺 え？

小鹿 なんか、盛り上げなーんとか、黙っところーとか。

小野寺 ……

小鹿 さとし君の…あ、弟ですね、

小野寺 義理の。

小鹿 はい、そんなさとし君の4歳の誕生日…テンション上がったさとし君が、火のついたケーキのロウソクば掴もうとし
たんです。(その日の様子が見えて来る)わー!と思うてさとし君の手ばバツてはろうたら、春美ちゃんがあたしの手
ば、

春美 (がっつと掴む)

小鹿 !

小鹿 ……瞬間、おとうさんの顔ば見たら、おとうさんは春美ちゃんの顔ば凝視しとらした。春美ちゃんは子猫
抱えた母猫んこたる顔であたしは見とらした。

春美（我に帰って）あ、ごめんねー！

小鹿 あ、いえ………そんなとき、あたしはもうここで頑張らんでもよかつたらなあって思ったとです。
小野寺 ……

棚の片付けなどをしている小鹿。その背中を眺めながら、

小野寺 居場所の確保。生まれたからにはどこかにいなければならなくて、どこに居るか、その戦いこそが人生、と言ってもいいんだろうと思う。でも、その椅子取りゲームに混じれない、混じらない人も居て、そんな人たちは、どこにどんな椅子に座っているのか、そんなことをぼんやりと考えた。

◆マツオラップ

小鹿の部屋。

公式をリズムで叩き込んでいるマツオ・村上・小鹿。見ている小野寺。

小鹿 二次方程式・解の公式、えつくすイコールにーえー分のマイナスびー

村上 プラスマイナスるーとびー二乗

マツオ マイナスよんえーしー

小鹿 あー、えつくすイコールにーえー分のマイナスびー

村上 プラスマイナスるーとびー二乗

マツオ マイナスよんえーしー

小野寺 マツオ君の受験が近づき、村上さんと小鹿ちゃんは懸命に応援を重ねていた。でも、

マツオ なー………！

小野寺 マツオ君！

マツオ ダメだ！村上さん、俺ダメかもしれん！

村上 なーんね、何のために4年間頑張ったとね！

小鹿 ボーナス！バリボー！ネクタイ！背広！

マツオ 村上さん。

村上 何？

マツオ 俺、もう脳みそが固まっとなるんかもしれん。

村上 え。

マツオ 冷蔵庫の下の段にずっと放置された味噌。あれみたいにカスカスになっとなるんかもしれん。

村上 え？

マツオ もうダメや！俺、うまい味噌汁になれる気がせん！

村上 マツオ君！

マツオ 脳みそフリーズドライ！

村上 馬のにんじん！

皆 え。

村上 合格したらお祝いしてやる。

小鹿 お祝い？

村上 4年かかっつとだもん、4年分お祝いしよう。

小野寺 いいね。ほら、行きたいとことか食べたいものとか。

マツオ 今は何も考えられんす。

村上 マツオ君。

マツオ ……？

村上 今までいろいろあったよね？…きつかった、苦しかった、はつかしかったいろいろあったろ？
マツオ …ありました。
村上 どがんにつがあつた？
マツオ (ネクタイした人と外人は皆、自分より頭いいと思ってしまっ)とか。
村上 (リアクション)
マツオ (居酒屋とラーメン屋以外の店では異常に緊張してしまっ)とか。
小鹿 (リアクション)
マツオ (チワワを散歩させてる女の人が苦手)！
小鹿 村上 (リアクション)
村上 そがんいろいろはぶっ飛ばすべふいのことばしよう、ほぶ、
小鹿 海？
小野寺 温泉？
マツオ 滝。
皆 え？
マツオ 滝！滝行つてみたいす！
皆 滝？？
マツオ 俺、一回打たれてみたかつたんす。浴びたい！打たれたい！そして生まれ変わりたい！
小野寺 滝。
村上 どこにあると？
小鹿 任して！(スマホ)
村上 受かるう、試験！
小鹿 そして滝！
マツオ な—————！

◆筋向「」

閉店後・受付。小野寺・小鹿。

小野寺 (PCにメール)わ。
小鹿 ?
小野寺 オナーからメール。
小鹿 何て？
小野寺 経費削減・売り上げ推奨。それを強めの文章で。それと、
小鹿 シフトですか？
小野寺 苦情が来てゐるつて。ちゃんとまどめらつて。
小鹿 求人、出してあるんですけどねえ。
小野寺 来ないじゃん。
小鹿 なんか筋向ここのビルに耳かき屋できるらしつすよ。
小野寺 まじで？
小鹿 エロいことアリらしつす。
小野寺 えー。
小鹿 トイレ掃除して来ます。
小野寺 ねえ、てんでんつて何？
小鹿 ……
小野寺 てんでんつて、何？
小鹿 他店に移店。かけもちです。
小野寺 え。
小鹿 オナーが声掛くつとです。

小野寺 オーナーが？なんで？

小鹿（意味深に）いい子は「いい店」で使ってみたいですよ。

小野寺 ……それ、へんじゃん。

小鹿 え。

小野寺 そんなことしたららっつちのジフ下、ぐちゃぐちゃになるじゃん。

小鹿 それまとめんのが店長の仕事なんじゃないですか。

小野寺 それへんだよね。

小鹿 じゃ、やめればいいんじゃないですか。

小野寺 小鹿ちゃんも…したことがあるの？

小鹿 え。

小野寺 ……かけもち。

小鹿 あたしはいい子じゃないんで。

小野寺 ……あのさ、小鹿ちゃんてオーナーの…

小鹿 したらんですよ。

小野寺 え。

小鹿 そがん関係じゃなかつたよ。あ、オーナー勃たんそうです。糖尿病？なんかそがんとで。

小野寺 それ要らない情報。

小鹿（笑）

小野寺 ……ごめんねー、へんなこと聞いて。

小鹿（しばし小野寺をみつめる）

小野寺 ？

小鹿 トイレ掃除、行ってきます。

小野寺 ……！！

◆がんばろうね

閉店後・受付。

村上 本日、「チェンジ」お2人「黙って我慢」3人（顔をみるなり舌打ち）お1人。

小野寺 どうだった？

村上（延長、いただきました〜！）

小野寺 さばいたね。

村上 はい。

携帯の着信音。

小野寺 村上さん、工作中、携帯は…

村上 すいません、（私物カゴから携帯を取り出し画面を見る）

小鹿 出らんとですか？

村上（画面に釘付け）

小鹿 出らんとですか？

村上（すぐるように小鹿を見る）

小鹿（察して）切れますよ！

村上（…思い切って出る）もしもし…（しばし呆然…切る）

2人 えー？

村上 知ってる声だった。

2人 ？

村上 知ってる声だった。

小鹿 うん、
村上 知つとる声だった…！
小野寺 壊れた。
小鹿 もっかい掛けてみらんですか。
村上 (よじれている)
小鹿 村上さん、
村上 (小鹿に) 知つとる声だった… 知つとる声だった… 知つとる声だった…
小鹿 ……

小野寺 村上さんは踊るように身をよじっていた。それがなんとも… おかしくてせつなくて、見るだけで胸が苦し
くなった。その後、村上さんはその「一緒に住んでた人」に会いに行った。

数日後。閉店後の受付。

村上 お金もろた。
小鹿 お金？
村上 うん。
小鹿 何の？
村上 一か月分の家賃と……3万円。
小野寺・小鹿 あー。
村上 就職しとらした。背広、着とらした。
小鹿 ハゲとらんだった？
村上 ……
小鹿 太つとらんだった？
村上 ……
小鹿 ままならんだった？
村上 ……いつでん「がんばろうね」て言わすと。あたしが何ば愚痴っても、そんたんびに言つてやらすと。
小鹿 ……
村上 「がんばれ」て言わると突き放された感じがせん？俺は関わらんばつてん、おまえは頑張れ、的な。だけん、あ
ん人の「がんばろうね」が、たいぎや支えになりよつたと。でも今思えば、
小鹿 ……
村上 あん人はあん人で、いっばいっばいだったつたらなあて。
小鹿 うん。
村上 でね、
小鹿 うん。
村上 また言つてやらした。
小鹿 ……
マツオ(元彼)ががんばろうね。
小鹿 ……
村上 また…誰かと暮らす可能性あるのかなあ。
小鹿 暮らしたかですか？
村上 ままならんけどね。楽しかけんね。

二人を眺めている小野寺。

◆元同僚

昼間の繁華街。買い出し中の小野寺。

声 おー、小野寺！

小野寺 それはマンション時代の同僚。

声 元気そうね。なん、こがんと「歩く」と？

小野寺 うん、たまにね。

声 いやらしかー。現役げんえき(笑)てかたい、高原やめたばい。

小野寺 え？

声 やめて何しよると思う？弁当屋の配達ぞ。こん前まで高級マンション売りよった奴が何しよるとやてね。

小野寺 へえ。

声 おまえ今何しよと。

小野寺 資格の…勉強？……咄嗟に、嘘が出た。

声 ばー！またランク上げて戻って来ようと思とんね。やつは変わらんね。んな、また闘おうばい！

後輩「高原」立つ。

小野寺 そいつは後輩だった。気のいい、人なつこい男で、いろんなところに連れて行って、いろんなことを教えた。契約の取り方も一から教えた。でも、

後輩 小野寺さん。

小野寺 その時期成績が危なかった俺は、2人で取った契約を自分の成績として届けた。

後輩 何で言うてくれんだったとですか。

小野寺 え？最終的に印鑑押させたのは俺だよな？

後輩 何で言うてくれんだったとですかて。

小野寺 そこまで持ってたの、俺だよな？

後輩 黙って届けたけん、腹ん立ったとです。言うてくれたら、俺は、

小野寺 おまえさ、最近調子いいからって凶に乗ってない？

後輩 ……

小野寺 怒った？ごめんねー

後輩 ……！

小野寺 そいつは俺に殴りかかって来た。ちょっとした騒ぎになって上司に呼ばれた。…その日から、時折耳鳴りが襲って来るようになった。検査しても問題なし。だけどその何ともいえない不快感と周囲の視線がめんどくさくなつて、俺は自分から会社をやめた。

耳鳴り。

小鹿 いらっしやいませ。

村上 本日も相手を務めます、

小鹿 小鹿です。

村上 村上です。

2人 またお会いできますように！

◆合否判定

小野寺 マツオ君の受験の日が来て、

小鹿 えつくすイコールにーえー分のまいなすびー

村上 プラスマイナスルートびーじじょう

マツオ マイナスよんえーしー

マツオ がんばります！

小鹿 がんばろうね！

マツオ ！

小野寺 合否判定の通知が届いた。

マツオ 開けます。

村上 ドキドキ。

マツオ …村上さん開けて！

村上 無理むり！

マツオ …開けて！で、教えて！いや、教えないで！

村上 マツオ君！

小鹿 開けますよ。

マツオ わ、待って…

小鹿 ぺりぺり…(封を開け、書類を眺めて)…

マツオ ……

村上 ……

小鹿 ……

マツオ ……

小鹿 ……合格！

マツオ・村上 ……

小鹿 でもABCのC判定。

村上 ギリギリ。

小鹿 でも受かった。

村上 受かった！

小鹿 ボーナスとバリボー、

村上 そして、

マツオ ゴートウーザ・滝！

◆滝

小野寺 滝までの道のり、5人乗りのレンタカーを借りて俺が運転した。

出発前。車内。

小野寺 じゃ皆シートベルト。

小鹿 うわー。

小野寺 何？

小鹿 なんか大人。社会人。

小野寺 (リアクション)

以下、夢のような時間。

車窓からいろんなものを発見する小鹿・村上、

助手席であやふやな道案内をするマツオ、

後部座席からスマホ見ながらあまたこうだと小鹿、

興奮している村上。

後日思い出そうとしても思い出せないくらいに愉快的な時間。

到着。

車を降りる面々。広々・寒々とした十一月の駐車場。

小野寺 さむ！

村上 誰もおらんね。

小野寺 さすがにね。

村上 だいたい歩く？

小鹿 (スマホ見ながら) すぐと思います。ここまっすぐ。ね？

マツオ はい、ここちす！

小野寺 でも滝は随分と遠かった。坂道、岩場、かじかむ手をこすり合わせながら歩いた。

岩で「じつじつ」の道、道祖神、苔むした由来看板、木々の間をすり抜ける鳥…

寒さと興奮でハイになる面々。と、

小野寺 あれ？

小鹿 うわー！うっわー！

マツオ なー！ー！

小野寺 見事な滝だった。腹に響くような水音、霧のようなしづきが全身にふりかかり、顔がかじかんで行くのがわかった。

マツオ おっしやー！

滝の近くに駆け出して行くマツオ。

村上 ちよ、まじで滝行？

小鹿 くらっしやー！(マツオについて行く)

村上 ばー！ちよっとーあんたたちは…くらー！

小野寺 マツオ君は靴と靴下を脱ぎ、ズボンをまくって水の中に入った。小鹿ちゃんも続いた。

マツオ ひえー！水水！

小鹿 ひえひえ！

村上 ばーかばーい！タオルなかよー！

極寒の中、水を跳ね上げてはしゃぐマツオと小鹿。

数秒と水の中に居られず、岩に飛び上がり、また挑むように水の中に。

白い息。鼻水。真っ赤になる足。

小野寺 マツオ君と小鹿ちゃんはキンキンの水の中で跳ねていた。冷えて赤くなった小鹿ちゃんの足先が、妙になまめかかった。

小鹿（小野寺の近くに来る）冷えたひえた！ほら！（冷えた手を首元に）
小野寺 やめ！

小鹿（何かに見入る）

小野寺（視線を追う）

小鹿 あの葉っぱすげえ。

小野寺 え？

小鹿 あの、滝にはばばって打たれよる葉っぱ。

小野寺 ああ。

マツオと村上もその様子に気づき、同じ景色を見る。

小鹿 あそこに生えたときからずーっとはばばばってなってるよすよね。ちぎれて流されるまで。

小野寺 かな。

小鹿 かっちょええすねえ。

小野寺 ……

激しく揺れる葉をみつめる小鹿。

その横顔と滝を交互にみつめる小野寺。

◆暴力

日曜の夕方。繁盛している受付。

小野寺 その日はなんだか朝から慌しかった。キャンセル、時間変更が相次いで、俺は少し気持ちがバラバラしていた。

ニヤニヤしてマツオ。

マツオ ちやす。

小野寺 おっ。

マツオ へへ。

小野寺 マツオ君は付箋をいっぱいつけた求人雑誌を抱えていた。

マツオ 後で相談に乗ってもらえませんか。

小野寺 えー。自分で決めろよ。

マツオ 俺がブラック企業とかに入ったらどうすんすか！

小野寺 と、そのとき、

声 何や、俺が何したて言つとや！

2人???

声 ババアのくせしてのほすんな！

小野寺 それは村上さんの部屋。途端、マツオ君が飛び込んだ。

マツオ 何しよんか、きさん！

施術室に飛び込んで行くマツオ。

慌てて追いかける小野寺。別の部屋から飛び出して来る小鹿。

小野寺 俺も慌てて追いかけた。酔っ払いだった。酔ったお客さんは通さない、という決まりがあったのに、それを見落としたのは俺だった。飛び込んで来たマツオ君に逆上した客は、近くの電気スタンドを振り上げて殴りかかった。マツオ君は客を押し倒し、首元を締め上げた。ほうほうのいでマツオ君の身体の下から抜け出した客はヒキガエルのような声で叫んだ。

声 警察！警察は呼べ！……！

マツオ 謝れ！

小鹿 店長！

声 早う呼ばんか！

マツオ 謝らんかちゃ！

小鹿 店長！

村上 マツオ君…マツオ君！マツオ君！

マツオの背中においすがり、マツオを客からひきはがそうとする村上。

激昂し、村上をふりはらうマツオ。何度突き飛ばされても懸命にすがりつく村上。

小野寺 俺は受付カウンターの内側に貼られた最寄警察に電話した。

村上（絶叫）マツオ君！

マツオ ………！

小野寺 すぐに警官がやって来て、マツオ君は連行された。

小鹿 ………

警察に迎えに行く小野寺・小鹿・村上。

小野寺 客は…被害届を出さなかった。

マツオ君は、額に大きな青あざを作っていた。村上さんはひたすら謝り、マツオ君は何も言わず、でかい身体を小さく縮めて立っていた。

ひたすら謝る村上。

大きなガタイを小さく縮めて、マツオ。

小野寺 警察からの帰り道、皆、無言だった。そんなとき小鹿ちゃんが、

小鹿 おでん、食べませんか？

村上 …おでん？

小鹿 あつたまりたいです。

村上 そうね。

小鹿 あつたまりましょう！

小野寺 村上さんはマツオ君を見た。マツオ君は顔をこわばらせながら、少し笑った。

屋台ののれんをくぐる面々。

小野寺 小鹿ちゃんの提案で、俺たちは屋台のおでん屋に立ち寄った。村上さんはハイボール、小鹿ちゃんと俺はビール。でもマツオ君は、

マツオ 俺、カルピス。

小鹿・村上 えー。

小野寺 呑めないのか、呑「ま」まないのか。皆のバカ話を聞きながら、俺はぼんやりとマツオ君の額の傷を眺めていた。

帰り道・公園。ほろ酔いの村上。夜空。

帰るに帰れない面々。小鹿。

小鹿 村上さん。

村上 ？

小鹿 小さい頃、何になりたかったですか。

村上 あたし？（あたし、漫画家）。でも右向きの顔しか描ききらなかったけん、「右向きの国」ていうて、右向きの

人ばかり出てくるとば描きよった。

小鹿（リアクション）マツオ君は？

村上 俺は（タンクローリーの運転手）になって、未亡人の経営するラーメン屋手伝おう（と思つた）。

小鹿・村上（リアクション）

小鹿 店長は？

小野寺 …覚えてないな。

小鹿 えー。

村上 てか。

小鹿 ？

村上 こん先、何になれるとだろか。

小鹿 ホームレス。独居老人。

村上 え???

小鹿 六畳間にたぐさんのネコと住んでるおばあちゃん。

村上（ばあちゃん）おー、ミィ、クロ、こはんばーい！おー、プチも来たか、ならばあちゃんも一緒に食べよう…うて、あ

たしなりそう、笑えん！

小鹿（リアクション）

マツオ 俺、じいさんになりたい。

小鹿・村上 え??

マツオ じいさん。なんか夕方、たーだ玄関に立つとるじいさんおるでしょう。

小鹿 ああ、ステテコ穿いて、ジヨウロとか持って。

マツオ そう！あの毎日たぐだ立つとる、俺、あんなじいさんになりたい。だけ、

村上 ？

マツオ 村上さんもばあさんになればいいすよ。デパートとか病院とかで、手編みの帽子がぶっっておしゃべりしよるばあ

さん。

村上 えー。

マツオ あれ皆なかよしなんかなくて思たら、いや、今こゝでお会いたのよ〜とか言うですよね。コミュ力すげっすよね。

村上 ……

マツオ だけ、村上さん、あんなばあさんになればいいよ。
村上 マツオ君…

マツオ ?

村上 大好きだー!!

マツオ 俺も村上さん、大好きです。

村上 あー、この喜びを胸に、村上、帰宅します!!

マツオ 送って行きますよ。

村上 え。

マツオ もう遅いけ。

村上 いやいやいや。

マツオ いやいやいや。

村上 ならまた明日、

マツオ どうもー!

帰って行くマツオ・村上。 見送って小野寺・小鹿。

小鹿 何で電話したんですか。

小野寺 え。

小鹿 何で電話したんですか。

小野寺 だって、そろそろするだろう?

小鹿 …

小野寺 どんな状況であれ、暴力はダメだよ。

小鹿 ……

小野寺 違う?

小鹿 ……

小野寺 ……

小鹿 小鹿、帰宅します!

小野寺 !

去る小鹿。小野寺、深く息を吸い、一気に吐ききる。

◆
◆
◆

小鹿 いらっしやいませ。

村上 本日も相手を務めます、

小鹿 小鹿です。

村上 村上です。

2人 またお会いできますように!

違和感のある日常。

やることなすことうまくいかない小野寺。

小野寺 ギクシヤクした日々が続いた。シフトは「ちやちやする」一方だった。やっぱり無理だ。もう限界だ。いつまでいようかな。そればかり考えるようになった。そして。

閉店後の受付。

小野寺 小鹿ちゃん!

小鹿？

小野寺 俺、来週いっぱいまで終わり。

小鹿：

小野寺 いろいろ…ごめんねー。ありがとう。

小鹿 耳かきしましょうか。

小野寺 え。

小鹿 最後に、ちゃんと経験してもらいたいです。

小野寺 あの……

施術室に向かう小鹿。少し遅れて小野寺。

薄暗い空間。

事務的に準備をする小鹿。棒立ちで眺めている小野寺。

小鹿（正座の膝を叩いて）あたま！

小野寺！

恐る恐る膝に頭を乗せる小野寺。

声 ホットタオル！

小野寺 あつ！

声 ツボ揉み

声 グリグリ

声 カミソリ！

声 シヤリ シヤリ

声 耳たぶ折り！

声 ぐっぐっ、

小鹿 では、お耳の中を照らします。（ライト）

声 カチッ

小鹿 入れますよ。

小野寺（緊張）

小鹿 力抜く！肩！

小野寺！

声 カリカリ

声 ガサ ガサ

静寂の中、耳の中を掻く音が頭蓋骨の中に響く。

小鹿 次、

小野寺？

小鹿 決まったんすか。

小野寺 うん。

小鹿 マンション？

小野寺 うん。

小鹿 おめでとついでいます。

小野寺 でもね、社長が年下だった。

小鹿 ありゃ。

声 カリ カリ
声 ガサ ガサ

小鹿 お。

小野寺 ？

小鹿 (笑) すんこいのある。取ってもいいか。

小野寺 う、うん。

声 ガサ ガサ

耳壁を強めに搔く音。張り付いた何かが剥がれる感覚。

小野寺 ちよま、すんこい音すんだけど。

小鹿 じつとして。

声 ガサガサ…バリバリ

小野寺 え…え…え…え？

声 バリッ！

小野寺 (情けない声) あっ！

小鹿 わ。

小野寺 ？？

小鹿 (笑) すんげーの取れました。

小野寺 ちよま、見せないで…え？

小鹿 (ティッシュに乗せた「成果品」を見せる) こんなのが、体内に。

小野寺 ……めっちゃ恥ずかしいね。

小鹿 人間なもの。

小野寺 ……お客さん、こんな気分になるんだね。

小鹿 じゃ仕上げ。

小野寺 え。

小鹿 はい、正座。

小野寺 (言われるままに座る)

小鹿 これはおんまさん。(両手を握って) これは手綱。しっかり握って下さいね。行きますよ。なんはびゅうまは
ととして、ないてもつよい うまはつよいけど小野寺君もつよいととして。

握られた手からぬくもりが沁みて来る。

小野寺 ……「めえ」。

小鹿 ……

小野寺 酔っ払いを通したのは俺だ。

小鹿 ……

小野寺 俺さ、きつと…暴力が怖いんじゃないで、むきだしの感情が怖いんだ。

小鹿 ……

小野寺 いろいろ「めえ」。

小鹿 ……「めえ」。

小野寺 ……

小鹿 ……とじとじ。
小野寺 ……

ぎゅっと手を握る小鹿。
叱られた「ごも」のように泣けてしまっ小野寺。

◆引継ぎ

小鹿 料金は30分3000円、60分5000円。指名料は500円。支払いは現金のみ、後払いは絶対不可。こちらで住所氏名とカルテをご記入頂きます。

開店前の受付。
新店長に店の説明をしている小鹿。離れて眺めている小野寺。

声 えー、まし俺がブログ書くんすか！

小野寺 新しい店長は金髪の、若い青年だった。小鹿ちゃんがまた、俺にしたのと同じように説明をしていた。

店への階段の下。
見送りに出た村上・小鹿。

村上 お世話になりました。

小野寺 ……

村上 よかったら、今度はお客さんとして来て下さい。

小野寺 ああ。

村上 何ば言われてもさばきますよー！

小野寺 (おばあちゃん)

村上 (こら悟、あたちゃんと生きていかなんばい)なんて。

小野寺 (リアクション)

村上 なら戻ります。(小鹿に)先に行くね。

小鹿 すぐ行きます。

村上、店へ。

小野寺 ……

小鹿 ……

小野寺 じゃ。

小鹿 あたし、店長好きでしたよ。

小野寺 え。

小鹿 はい。

小野寺に抱きつく小鹿。
幼児のように、頭をもぐもぐさせてぎゅっと。

小野寺 ……

小鹿 ままらんすね。

小野寺 ……

小鹿 仕方ないっすよね。人間だもの。

小野寺 ……………

◆景色

過日。

がちやがちやした繁華街。

小野寺 季節が変わり、慌しく走り回っていたある日、得意先周りのついでに、あの、ガチャガチャした繁華街に足を伸ばしてみた。飲み屋、キャバクラ、名もない百貨、精力剤メインの薬局…通り慣れた道を抜けると、…耳かき店は、パンケーキの店になっていた。

今までに会ったお客さんたちの顔がばーっと浮かんで来た。

横柄なおっさん、挙動不審な若者、耳かきが初めての外国人、童貞君、前歯のないお兄さん、カタコト日本語のお姉さん、階段を駆け上がった来る宅急便屋さん…（その面々の顔が鮮やかに脳裏に浮かんで来る）横柄なおっさん、挙動不審な若者、耳かきが初めての外国人、童貞君、前歯のないお兄さん、カタコト日本語のお姉さん、階段を駆け上がった来る宅急便屋さん…どこで何をしているのか知るすべもないけど、何でか強く思った。がんばろうね。人間だもの。

雑踏に紛れていく小野寺の背中。